

一、ショッピングモール、情報源、TV、ネット、携帯電話/Wify3：トイレなどプライバシーのある場所、飛行機、人とのつながり、自然、海、情報源。

Qさん=Wify1：家、家族、身内、コンタクトレンズ、ライフライン、食べ物/Wify2：家族、友達、お金、家、ライフライン、携帯/Wify3：家、ライフライン、家族、友達、地球、お金。

Rさん=Wify1：ご飯、お金、睡眠、友人、家族/Wify2：バス、スーパー、書店、バイト先、郵便局ATM/Wify3：部屋、実家、駅、村。

Sさん=Wify1：水、電気、火、パンツ、コーヒー/Wify2：コンビニ、駅、パチンコ店、自宅、ATM/Wify3：友達、言語、金、食物、自然。

Tさん=Wify1：人とのつながり（身のまわりの人）、お金、食料、水、時計、遊ぶ時間/Wify2：まわりの人、いつも集まるレストラン、コンビニ、交通手段、家/Wify3：人、店（スーパー、レストラン）、住む所、食べ物、飲み物、電話やメール、インターネットとか通信手段。

Uさん=Wify1：電気、食べ物、飲み物、家族、住居、コンタクトレンズ/Wify2：道路、交通機関、空気、家、近所付き合い、地域付き合い/Wify3：空気、動物、植物、食料、安全な場所、人間。

Vさん=Wify1：ガス、水、食べ物、メディア、住まい、ウォークマンと音楽、人とのつながり、家族、大切な人、友達/Wify2：道路、バス、電車、学校、バイト先、いやしの場所、服、ごはん屋さん、服屋さん、カラオケ、カフェ/Wify3：新幹線、高速バス、飛行機、おじいちゃん、おばあちゃん、しんせきとか、日本全国（または世界の）畑・田んぼ・海など、働く人、日本中の食物の生産者やお医者さん公務員など、ネット、他県・日本内・世界とわたしのつながり。

今回の対象である学生たちも、「無くなったら困る大切なこと/もの」を、このような形で組織的に問いかけられたのは、生まれて初めての経験

だったようです。Wifyワークシートを配布し、趣旨を説明し、記入をお願いした時、クラスが一瞬静かになり、しばらくしてあちこちから“書く音”が聞こえ始めました。そして対話が始まりました。

生きるために、言葉は大切です。自分から発せられた言葉を通して、まずは自分自身の意識化・理解が始まります。「私って、こうなんだ!」、  
「私は、これを大切にしているんだ!」

Wifyから生まれる言葉は、それぞれが触媒のように働き、言葉同士が結びつき、自分でも気づいていない生活や暮らしへの、また世界への理解が現れ始めます。

3月11日より前にも、大切な言葉があったはずですが。3月11日以降を経験して、初めて大切に思えるようになった言葉もあるかもしれません。言葉で世界が組み立てられ、その世界を私たちは生きていきます。

## 文 献

- 1) 守山正樹：被災の影響下、流動する生活の全体像をイメージマップで可視化する。理学療法 28(7)：921-929, 2011
- 2) 守山正樹、鈴木継美：思春期の成長と性の認識の形成。民族衛生 39：13-25, 1973
- 3) Moriyama M, Suwa T, Kabuto M, Fukushima T：Participatory assessment of the environment from children's viewpoints：development of a method and its trial. *Tohoku J Exp Med* 193：141-151, 2001 ([http://www.jstage.jst.go.jp/article/tjem/193/2/141/\\_pdf-char/ja/](http://www.jstage.jst.go.jp/article/tjem/193/2/141/_pdf-char/ja/))
- 4) 守山正樹：Wify（ウィッフィ）生活の中から言葉を育て、生活世界の多様性を学ぶ、1-40。福岡大学医学部公衆衛生学教室、2002 (<http://dailywify.googlepages.com/p02j-WifyNyumono.pdf>)
- 5) Moriyama M：Health promotion through re-discovery of one's sensibilities of health：the Lifemap and WIFY Methods. *Glob Health Promot* 17：44-47, 2010

## Wify による精神性の言語化・意識化

守山正樹\*

Masaki MORIYAMA, MD, PhD

1. 「What is important for you?」と問う Wify は、視点を変えた累積的な問いかけにより、言葉を引き出し、育て、環境観や世界観の言語化・可視化への途を開きます。今回はさらに問いかけを工夫し、より深く“大切さ”を探究しました。
2. ランバン（タイ）の中学生に Wify を問いかけた結果、仏教・友達・平和など特徴的な雰囲気を感じさせる言葉が得られました。また同地の看護教員に数日続けて Wify を問いかけた結果、中学生の場合と似た傾向の言葉が得られ、Wify の歌も生まれました。Wify で言語化された内容には、精神性という言葉が当てはまると考えられました。
3. 釜山（韓国）では、常に健康を意識しながら Wify を問う K-Wify が開発されました。S 大学の学生に K-Wify を問いかけた結果、「特別な場所、心／精神、特別な品物、自然、人間関係」などに関連した言葉が得られました。WHO の健康の定義を参照した結果、これらの言葉も、精神性を表していることが推測されました。
4. Wify を問いかけ始めた頃、場所や品物や自然に関する言葉が現れやすい傾向があることは、日本でも認められます。しかし、累積的に Wify を問いかけていると、品物や場所や自然の背後にある「もっと大切なもの」に意識が向き始めることが観察されます。身近なところにある“精神性”に気づくことは、人が健康に生きる上で重要なことだ、と考えます。

## 1. はじめに

本連載では手書き顔グラフから出発し、「紙と鉛筆」的な方法で、人々が頭の中にイメージや概念として持つ対象を可視化する試みを続けています。今回は、前号で紹介した Wify<sup>1)</sup>を用いて“精神性”の言語化・意識化・可視化にチャレンジします。

オンライン総合辞書 Weblio の類語辞典によれば、“精神性”とは「精神世界・生き方・(人間の) 品格・人間性・崇高さ・気高さ・純潔性・(高い) 志・スピリチュアリティ・霊性」などと

意義の似通った言葉だと定義されています。

## 2. 課題と可視化

「環境観・世界観を可視化する質問系列」として前号で紹介した Wify は、「無くなったら困る大切なこと／ものは何か」という質問を、視点を変えて繰り返すものです<sup>1-4)</sup>。一見単純な質問ですが、Wify を問うことで、それまで気づかなかった自他の多様な側面が、可視化されてきます。

Wify を開発した当初、筆者は、Wify で精神性が可視化できると明確に考えていたわけではありません。しかし、Wify を繰り返し問いかける中で、さらにその経験を日本国内だけでなくタイや韓国で継続した結果、日本国内で Wify を問いかけている時には気づかなかった「人間性のより深

\*福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室  
(〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈 7-45-1)

い部分に触れるような感覚」を体験することができました<sup>2)</sup>。

決まった答えが呈示されるわけではない Wify では、問いかけることで、その人の、その人にしかできない応答を引き出すことができます<sup>1~4)</sup>。国を問わず、Wify の答えは、一人ひとり異なります。また、タイや韓国など社会も文化も異なる場所で問いかければ、当然、日本で問いかけた場合とは異なる答えが得られます。答えに、「タイらしさ」、「韓国らしさ」のようなものが、もし感じられるなら、その感じられた“らしさ”は何でしょうか？

その国らしさ、その国の人らしさということであれば、「国民性」という言葉があります。『日本国語大辞典』（小学館刊）によると、“国民性”は「一国民または一民族の全体が共通して持っている性質、感情、また、その特性」とあります。しかし国や民族のレベルでの共通性を基盤にした国民性のような概念は、個々の言葉からイメージを育てる Wify の考え方とは異なります。では、Wify から育ち感じられるに至ったものは何か。考え続けた結果得られたのが“精神性”です。

### 3. タイでのアクションリサーチ (2001年)

#### 【1】信州からタイへ

Wify から精神性を考えるきっかけを作って下さったのは、1999年当時、信州大学医学部におられた丸地信弘先生です。1999年11月16日、丸地先生からの交換講義のご提案により、筆者は信州大学で公衆衛生学の授業を行うことになりました。「無くなったら困る大切なもの／ことは何か？」という質問を、大人（医学生）にしたのはこの時が初めてですが、学生たちは北京や長崎の子どもたちと同様に、この質問に関心を持ち、言葉を介する交流がクラスに生まれました<sup>2)</sup>。この様子を見ていて下さった丸地先生から、「Wify をタイで問いかけたら、きっと新たな展開がある。一緒にタイに行きませんか。」とのお誘いをいただきました。

丸地先生は1970年代以降、地域保健・環境医学・健康科学の分野で、総合ネットワーク的接近

と問題解決を志向した独自の理論を開発し<sup>5)</sup>、国内だけでなく、タイ、中国、バングラディッシュなどで、現地の人々とともに現地の問題を考えるセミナーを行っておられました。

丸地先生からのお誘いをきっかけとして、筆者はタイで Wify を問いかけることに関心を持ち、すぐに準備を始めました。この時に作成した Wify ワークシートを図1に示します。

#### 【2】ランパーンの中学校での Wify 実施

2000年2月11日、冬の福岡空港を発ち、午後バンコクでタイ国内便に乗り換え、午後7時にチェンマイ空港に着き、さらに車で1時間かけてランパーンに着いたのは午後9時でした。

ランパーン看護大学の S 氏の援助で Wify ワークシートのタイ語版を作り、2月14日の昼過ぎ、S 氏の案内で、大学から歩いて数分のところにある中学校を訪問しました。この学校はタイ語に加え、英語や仏語でも教育がなされている教育熱心な学校でした。

##### 1) 問いかけ 1

3階の事務室で校長先生に挨拶したあと、同じ3階の2つの学級で Wify を問いかけました。筆者は Wify の問いかけを英語で行い、看護大学の別の教員 N 氏が筆者の説明をタイ語で補足してくれました。最初の学級で出会った生徒48名のうち、最初の7名の Wify を以下に示します。

「あなたにとって無くなったら困る大切なことは何ですか？」(Wify1: 日常で、Wify2: 地域で、Wify3: 世界で)

##### <男子の場合>

A 君 = Wify1: 朝食を食べる、学校に行く、昼食を食べる、宿題をする、本を読む、寝る / Wify2: 父と母、友達のきれいで愛らしい家、学校と友達、隣人、私が行くすべての場所 / Wify3: 宗教 (仏教)、タイの国、美しい国土、世界、私の村と県。

B 君 = Wify1: 父と母、学校、友達、学校の外での勉強、両親が家事をするのを手伝うこと / Wify2: 家でしなければならないこと、勉強に注意を向ける、友達、清潔なこと、楽しいこと / Wify3: 仏教、タイの北部とタイ、木々、アジア

↑	<i>Impressions and comments after sharing of your replies with your peers.</i>				
↑					
↑	<i>Impressions and comments reflecting of your replies.</i>				
	<b>+4. Imagine about</b> ( _____ ).				
	<b>W3. Imagine your region, country, continent, and planet earth.</b>				
↑					
↑	<b>W2. Imagine your home, neighbors, workplace and community.</b>				
↑					
↑	<b>W1. Imagine your daily life.</b>				
<b>Wify What is important for you?</b>					Your name

図1 Wify ワークシート (2000年1月)

の大陸, 平和な世界.

C君 = Wify1: 歯を磨く, 朝食を食べる, テレビを見る, フットボールをする, お風呂に入る / Wify2: 大切な友達, 家, 学校と親切な先生たち, 動物園, 娯楽 / Wify3: 宗教, 美しい世界, 1年に3つの季節を持つアジア, 村が清潔なこ

と, 天気.

D君 = Wify1: 時計, お皿, バス, 食べ物, ベッド / Wify2: 学校, お寺, 病院, 友達, 市場 / Wify3: 警察署, タイの国, 国旗, 森, 仏教徒.

<女子の場合>

Eさん=Wify1:朝起きて、お風呂に入って、服を着ること。父と母、宿題、本を読んで毎日学校で勉強すること、夕食/Wify2:友達、村の発展、人々の親切さと友達であることと寛容さ、多くの場所を旅行すること、家や学校や地域を清潔にすること/Wify3:仏教徒、発展途上国としてのタイ、アジア、世界を旅すること、星や天体について学ぶこと、宇宙列車。

Fさん=Wify1:朝食を食べる、お風呂に入る、睡眠、水、本を読む/Wify2:親友と話す、父と母、先生方、隣人、いとこ/Wify3:良い国のリーダー、仏教徒の教え、太陽の光、村の指導者、僧侶。

Gさん=Wify1:両親が家のことをするのを手伝う、知識を得るために学校に行く、家で本を読む、両親のしなければならないことを体験する/Wify2:家、近所の人々、学校、友達、地域、村/Wify3:宗教、村が私の住む場所です、私の住みやすい国であるタイ、多くの観光名所のあるアジア、世界。

タイで Wify を問いかけたのはこれが初めてでしたが、生徒たちが楽しそうにワークシートに記入してくれたこと、また記入後のクラスでの交流でも笑顔が絶えなかったことが印象的でした。

## 2) 問いかけ 2

Wify1・2・3を答えたあと交流してもらい、さらに、自己の振り返り、および他の人との交流を通して感じたこと、考えたことを質問しました。

「Wifyを書いて何を考えましたか、気づいたことは何ですか？」

### <男子の場合>

A君:私が答えたことはすべて私が考えたことで、例えば家や学校は私を楽しく温かくします。

B君:この Wify の質問に答えるのは楽しかった。私が答えたのは毎日の生活でしていることで、それで私は幸せになる。

C君:僕が Wify1 に書いたことは僕の感じ方を表している。

D君:もし私が Wify で書いたことすべてがなければ、私たちは不幸になるでしょう。例えば森、警察署、学校、友達、食べ物、時計。

### <女子の場合>

Eさん:手を組んで祈ることで、私の夢が実現することを望みます。この目標に届くようにすべての人が互いに助け合うべきです。

Fさん:私は私の深い感覚から答えを書きました。この Wify の質問に答えて幸せに感じました。

Gさん:私が生きるためのものです。もしそれらを失ったら、寂しく、不幸になります。

「他の人との Wify による交流で分かったことは何ですか？」

### <男子の場合>

A君:友達の答えが印象的です。よい答えをしていた人も、絵を描いた人もいて、面白い。

B君:友達の答えから多くの新たな考えをもらい、それを生活に活かすことができる。

C君:友達の答えは私のと違う。他のすべての人が書いたのを読みみたいけれど、もう時間になってしまった。

D君:ある友達の答えは、私のと似ていました。例えば、タイの国、森、学校、時計などです。

### <女子の場合>

Eさん:どの子も自分らしい考えを持っている。誰も間違ったことは書いていない、というのは問われて自分が感じたことを書いているからだ。違った答えでも間違いじゃない。それが共通している。

Fさん:私の友達の良い考えを持っていて、それは日々の生活の活動についてです。

Gさん:殆どの人が違った考えを持っていた。ある人は何か無くなることを考え、それから起こることも考えていた。

さて、これらタイの中学生の Wify への回答から、何が読み取れるでしょうか。特徴的な言葉を捉えるとすれば、「仏教」でしょうか。

ウィキペディアによれば、タイの人口の95%は仏教徒(上座部仏教)です。「精神性」の類語には「精神世界・崇高さ・スピリチュアリティ……」などが含まれるため、仏教という言葉が出てくれば、当然そこに「精神性=仏教」というつ

ながりを読み取る立場もあるでしょう。しかし、筆者はタイの中学生の Wify に触れて、単に「仏教」という言葉に留まらない何か、より普遍的・共通的な“精神性”を感じました。

Wify を終えたあと、「この学校に来て、私たちに Wify を聞いてくれて、本当にありがとう。いつか私たちも日本に行ってみよう。」と笑顔で見送ってくれた子どもたちのことが、忘れられません。

### 【3】タイの看護教員の精神性

上述したランパーンの中学校で Wify を聞いた直後の2月14日午後からランパーン看護大学の会議室で、丸地先生のワークショップ「総合ネットワーク的接近から地域での HIV エイズの看護と予防の在り方を考える」が始まりました。24名の参加者は全員が、ランパーンやチェンマイなどタイ北部地域の看護大学に勤務する看護教員でした。

筆者がワークショップに参加した目的は、「Wifyによって、どのような形で、参加者の環境観や世界観が言語化・可視化されるのか」、「その言語化や可視化がワークショップの進行にどのような影響を与えるか」を体験・検証するためでした。

#### 1) 問いかけ1

ワークショップ1日目の2月14日午後、Wifyを問いかけました。最初の6名(全員女性)のWifyを以下に示します。

「あなたにとって無くなったら困る大切なことは何ですか？」(Wify1:日常で、Wify2:地域で、Wify3:世界で)

J氏=Wify1:私の連れ合いと子どもたち、教えること、研究すること、平和に歩くこと、料理の腕、友達、気軽なコミュニケーション/Wify2:良い隣人、安全で快適な道路、木々と緑の山々、買い物するお店、本屋、博物館/Wify3:平和とネットワーク、澄んだ空、きれいな空気、次の世代への信頼。

K氏=Wify1:私の犬や猫や魚に餌をあげる、ペットの世話をする、テレビを見る、本を読む/Wify2:私の両親、私の友達、私の仕事、私の病

院と患者さん、私のHHCの患者さん/Wify3:中国の新年、森、経済、環境、温室効果への対策。

L氏=Wify1:家族、食べ物、仕事、友達、環境/Wify2:私の赤ちゃん、夫、同僚、幸せ、関連性/Wify3:道徳、民主主義、タイの国、平和であること、人間性。

M氏=Wify1:空気、食べ物、自動車、息子、睡眠/Wify2:コミュニケーション、安全、良い感情、お世話をすること、清潔にすること/Wify3:発展、民主主義、自由、平和であること、道徳性。

N氏=Wify1:家の仕事、授業計画の準備、身体的活動、犬と魚への餌やり、息子たちに何かの仕事を教えること/Wify2:隣人とのコミュニケーション、コミュニティを発展させる、学生とカンファレンスをする、他のスタッフに合うこと、インターネット/Wify3:情報を探すためにインターネットを使う、交通渋滞への対策、人々を頭部外傷から守る、日々の生活における人々のストレス、環境問題への対策、互いに助け合う人々の親切さ。

O氏=Wify1:空気、水、食べ物、両親、私の命/Wify2:お金、コミュニケーション、私の看護学生、法律、微笑/Wify3:ブッダ、ラーマ王、経済的な資源、太陽、人工衛星。

ワークショップでは、まずWifyを問いかけたあと、さらにWifyに基づいて4番目の質問(例えばHIVエイズに関する質問)を考えてもらい、それへの回答が終わったら、ワークショップの主題に入ることを繰り返しました。

#### 2) 問いかけ2

1日目のHIVエイズに関する質問には、次のような答えが得られました。

「HIVエイズについて、思い浮かぶことは何ですか?」

J氏=普通の人は知らないこと。私たちは患者さんをもっと教育することが必要だ。学生たちと一緒にエイズについて考える必要がある。

K氏=共感。その人、その家族がどのように生きるか、どのようにHHCを愛するか。

L氏=予防、看護によるケア、感染、家族、スピリチュアリティ。

M氏=幸せ、とても長く生きられること、寂しさ、社会的な乱用、もっと多い印象。

N氏=エイズ感染が増えている、プロジェクトチームを作る、エイズの人々を助ける多くのネットワークに加わる、エイズを持つ人々の相談に乗る、健康教育をする、思春期のエイズを予防する。

O氏=ソーシャルサポート、薬剤、兆候と症状、死、ウイルス。

### 3) 1日目のWifyについての出席者の感想

1日目のWifyを終了して、出席者から得られた感想は以下のようなものでした。

「誰でも基本的なニーズを持っている。大切なのは愛と温かいお世話、そして互いの良い友情です。」

「結婚している人々は自分と家族と安全を考えていました。単身の人々は、より社会的なこと、周囲のこと、同僚のことを考えていました。」

「私の友達とWifyの内容をシェアしましたが、私の印象は変化しなかったと思います。そして、私の印象はとても異なっていると思いました。」

「私と友達がいまわったことは異なりましたが、私たちはそのことをお互いに許容することができます。」

「家族がいる人は家族のことをとても考えていました。このワークショップに参加した人たちは、愛や健康という言葉を選び、平和な心を持っていました。このWify用紙から私は、ほんやりとですが、私のパートナーの世界を思い浮かべることができます。」

### 4) 1日目のWifyについての筆者の感想

このワークショップに参加していたタイの看護教員の皆さんのWifyに接して筆者は、前述のタイの中学生のWifyへの反応との間に共通点があることに気づきました。教員の皆さんでは、「仏教」という言葉が中学生の場合より登場する頻度が低下していましたが、日々の生活の捉え方の中に“精神性”が認められました。

興味深かったのは、このワークショップの中で

筆者が感じたままに、「私は皆さんの発言の中に現れる特徴的な精神性 (spirituality) を、とても印象深く受け止めました。」と述べたのですが、タイの人たちには筆者が何を言いたいのかが分からなかったようです。「仏教や平和や親切や友情」を大切にするのは当たり前のもので、それがなぜ印象深いのか、そのことになぜ特徴的なものを感じるのか、分からないという答えでした。そこで、時間をかけて、例えば同じWifyの質問を日本で行った場合にどのような答えが返ってくる傾向があるかについて説明をするなど、かなり時間が経ってから、「自分たちの考え方の特徴がこのWifyに出ているようだ」という意見が出始めました。

### 5) 2日目以降のWifyについて

この2000年2月の丸地先生のワークショップは、14日から17日まで4日間行われました。毎朝、まずWifyを問いかけてから、その日のテーマに入る形を繰り返しました。しかし、まったく同じ内容のWifyを4日間繰り返したわけではありません。2日目には1日目の参加者の、3日目には2日目の参加者のWifyへの応答を、プリントにしてフィードバックし、より深く、踏み込んでWifyを考えることを繰り返しました。

1日目の朝、初めてWifyを問いかけた時、参加者の多くは一瞬戸惑いの表情を浮かべましたが、日を重ねる毎に、Wify記入後の自発的な交流が活発になっていきました。

Wifyの問いかけを繰り返す中で、ワークシートも複雑になっていきました。4日目に用いたワークシートを図2に示します。

図2では、ワークシート下部の四角の中に、Wifyの問いかけが埋め込まれています。Wifyの問いかけが変化したわけではありません。Wifyの問いかけの終了後、Wifyを出発点にして考えるべきことが日を重ねる毎に増え、対応する記入欄をWifyの上に積み重ねた結果、図2のようになりました。

累積的にWifyの問いかけを行うことで、参加者の思考を深めるとともに、参加者の雰囲気も大きく変化し始めました。

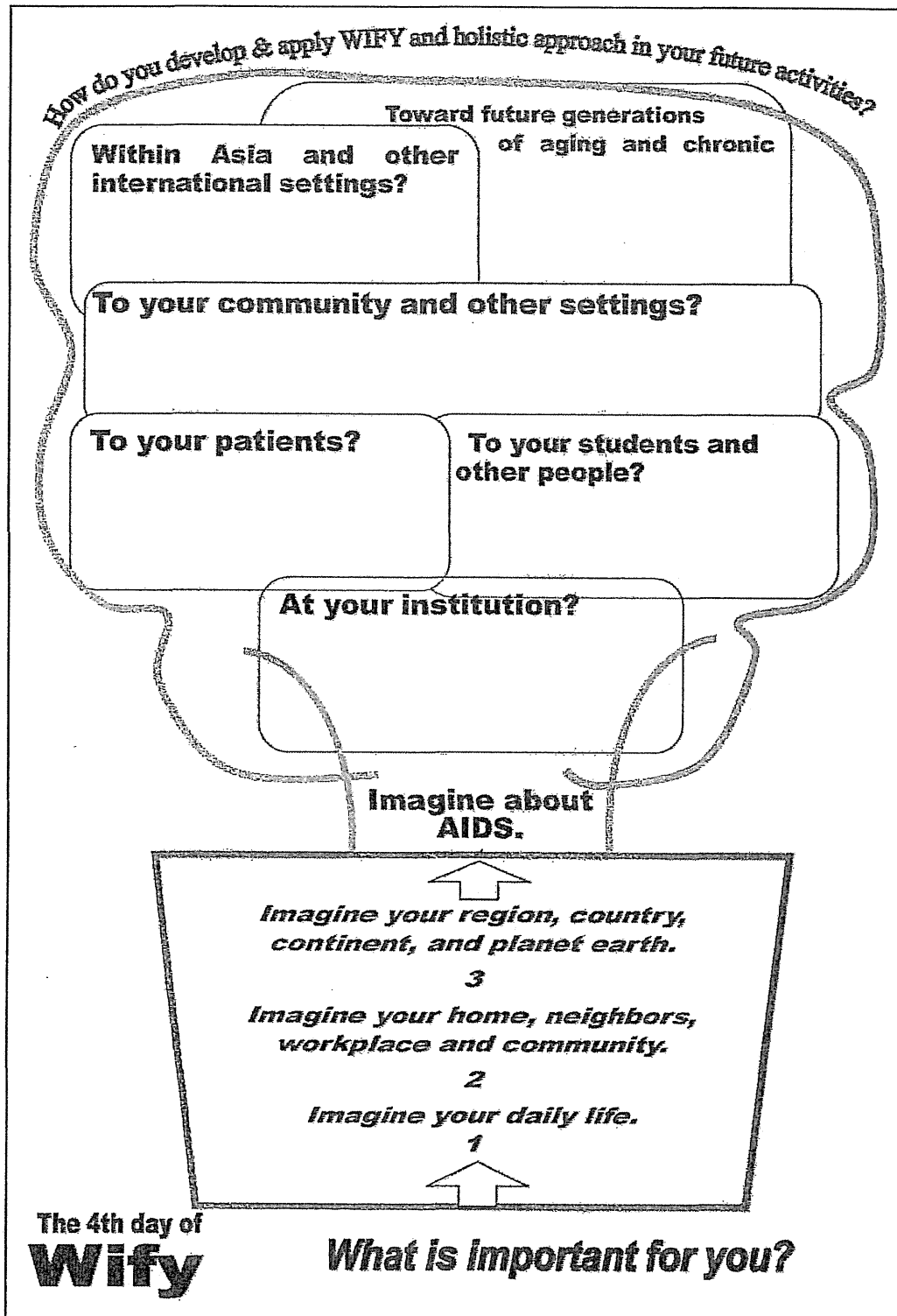


図2 Wifyを出発点として、さらに問いかけるワークシートの例 (2000年2月)

6) Wifyの歌

2日目の夕方のことです。参加者の一人であるサード・マンシング氏 (男性, タイ北部の看護大学教員) が「Wifyの発想を歌詞として表現したい」と言い出し、翌朝「Wifyの詞」を筆者にプ

レゼントしてくれました<sup>2)</sup>。

WIFY SONG

*What is Wify?*

*What is Wify?*

*Who are you? Who am I?*



*Would you like to tell me?*

*Would you like to tell me?*

*I would like to tell you,*

*I would like to tell you,*

*I love you,*

*I love you.*

Wifyの発想が“歌”として言語化・音声化されたのです。3日目夕方の懇親会でこのWifyの歌が紹介され、40名を超えるワークショップ参加者全員での大合唱になりました。Wifyが触媒の働きをして、参加者の精神性が、思いから文字へ、文字から歌へと具現化し、最後に合唱という強く明らかなメッセージ性を持った表現が生み出されたと考えられます。

Wifyの発想だけでなく、Wifyの問いかけから生まれる個々の言葉を音声化したら、どうなるでしょうか。筆者はかつてボコーロイド・ソフトによるWifyの音声化、ラップ化を試みましたが、初歩的な段階で止まっています<sup>6)</sup>。皆さんもWifyのワークシートに言葉を書き込んだら、それを声に出して読んでみませんか。

#### 4. 釜山でのアクションリサーチとK-Wify<sup>7)</sup> (2004年)

Wifyの兄弟とも言えるK-Wifyが韓国で誕生したのは、Nam Eun Woo (南銀祐) 先生 (現、原州 Wonju, 延世大学 教授) と Jo Eun Joo 氏 (現、釜山 Busan, 高神大学 講師) のおかげです。Nam 先生は韓国の健康教育ヘルスプロモーション分野での第一人者です。Wifyの開発当初から、健康教育ヘルスプロモーションに関する働きかけの方法として、Wifyの可能性に注目して下さっていました。2004年の初め、Nam 先生はそれまで勤めていた高神大学から延世大学に移れることになり、高神大学でNam 先生が担当した最後の大学院生であった Jo 氏が、博士論文のテーマとしてWifyを取り上げてくれました。Jo 氏と Nam 先生の仕事を筆者がお手伝いする形で開発されたのがK-Wify<sup>7)</sup>です。

まず、通常のWifyを用いて予備調査を行った結果、Wifyによる生活世界についての問題提起とWifyに参加することでなされる概念形成は、

韓国人の学生においても日本の学生と同様に進行することが、事例的に明示されました。このような概念の形成作用は、健康という概念にも当てはまると考えられます。しかしWify自体は、問いかけの過程で健康を取って意識化させるわけではありません。“環境”や“健康”などの既成の概念から出発するのではなく、敢えてそのような言葉を用いず、生活世界の中から言葉を見出し、言葉を紡いでいくのがWifyの特徴です。

よって、もし図1のWifyワークシートを用いて健康について問いかけるとすれば、それは最初に問いかけられるべきものではなく、Wify1・2・3の問いかけの終了後、つまり4番目の問いかけになります。一方、Jo 氏と Nam 先生のチームは、「健康についての問題提起を、Wifyの最初の3つの質問とともに進行させた方が、健康に特化した言語化・意識化が進む」と考えました。Wifyにおける思考の自由さに制限を加えた方が、健康を中心に考えがまとまりやすいと推測したのです。その結果、図3のようなワークシートを開発し、K (Korea)-Wifyと命名しました<sup>7)</sup>。

##### 1) K-Wify用紙による問いかけの結果

このK-Wify用紙を用いた韓国での初めてのWifyの問いかけは、釜山広域市にあるS大学の教養保健科目受講者を対象に、2004年9月25日から10月1日までの間の授業時に行われ、216名 (男子64名、女子152名) の学生から回答が得られました<sup>7)</sup>。

K-Wify1・2・3の記入欄には合計して445種類、延べ3,252個の言葉が記入されました。学生たちが書いた内容を、カテゴリー別に“言葉の種類数”で順位づけると、1位：特別な場所 (87種類)、2位：心・精神 (45種類)、3位：特別な品物 (41種類)、4位：自然 (38種類)、5位：人間関係 (27種類)、6位：宗教 (25種類)、7位：医療 (24種類) などと続きました。また“言葉の延べ出現回数”で順位づけると、1位：自然 (548回)、2位：特別な場所 (477回)、3位：心・精神 (271回)、4位：人間関係 (259回)、5位：食生活 (223回)、6位：特別な品物 (189回)、7位：宗教 (174回) などとなりました。

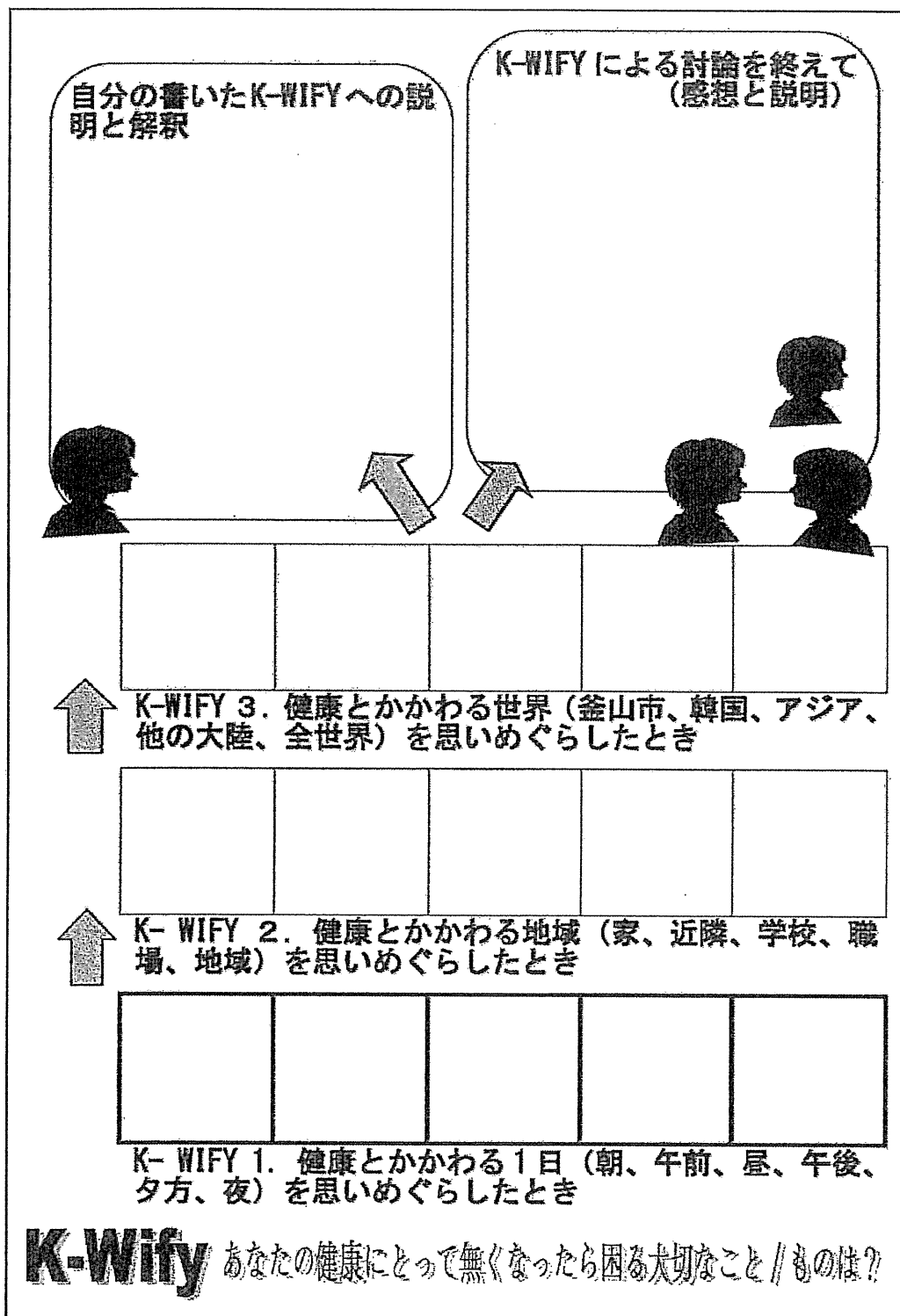


図3 K-Wifyのワークシート：韓国語からの和訳（2004年9月）

ではK大学の学生たちは、健康にとって何が大切だと考えていたのでしょうか。“言葉の種類数”で上位7位のカテゴリーのすべての言葉（種類）を以下に示します。

<1位：特別な場所>

バスに乗り行く道、村、寮食堂、講義室、階段、劇場、道、国際市場、金海空港、散歩の道、スーパーマーケット、市内、学校屋上、学校に行く道、会社、売店、南浦洞、公園、図書館、シネマ、文化空間、バス停留場、市外バスターミナ

ル, サウナ, 薬水の所, レコード店, 遊園地, 田舎, 書店, 徒歩, 足, コーヒーショップ, PC 部屋, 慶州, 済州島, チャガルチ魚市場, マクドナルド, デパート, 私の部屋, 余暇生活を楽しむ所, 自炊の部屋, 寮, 故郷, 私だけの空間, キッチン, 海雲台, 多大浦, 太宗台, 金鋼山, 巨済島, 南極, 洛東江, 松都, アマゾン, 海岸, 歩道, 太平洋, ニュージーランド, カリフォルニア, ラスベガス, ドイツ, アメリカ, モルディブ, マレーシア, 日本, 中国, オランダ, 北極, イラク, モンゴル, スペイン, スリランカ, オーストラリア, ヨーロッパ, イギリス, イタリア, 中東地域, エッフェル塔, アフリカ, カナダ, フランス, フィリピン, 海外, 国家, 世界, 大陸全体, 鏡台前 (以上, 87 種類)

#### < 2 位 : 心・精神 >

愛, 健全な情緒, 楽しい心と考え, 感情, 自信, 意志, 肯定的考え, 余裕, 心得, 努力, 幸福, 満足感, 褒め言葉, 平安, 平和, なごやか, 奉仕, 信頼, 率直, 人の意識, 譲歩, 明るさ, 音楽, 笑い, ストレス解消, 妥協, 秩序, 自由, 希望, 理解心, 正直, 適応力, 自分の成熟, 怒らないこと, 節制, 対話, 気持ち, 楽しみ, 良い考え, 勤勉, 嬉しさ, 従属感, 思いやり, 信頼関係, 意思疎通 (以上, 45 種類)

#### < 3 位 : 特別な品物 >

ラジオ, ピアノ, コンピューター, 日記帳, 携帯電話, 車, 時計, コーヒー, ベッド, めがね, レンズ, 靴, 鏡, 私の部屋の窓, TV, ファッション, 布団, CD, CDP, 手紙, 服, 椅子, インターネット, 電気カーペット, 目覚時計, 鏡台, バス, 地下鉄, 紙くず, 交通, エレベーター, 石油, フレオンガス, 飛行機, 火, 信号灯, 街燈, 汽車, 新聞, タクシー, ベンチ (以上, 41 種類)

#### < 4 位 : 自然 >

酸素, 空気, 水, 木, 石, 日ざし, 風, 星, 天気, 川, 山, 海辺, 土, 空, 自然, 地, 森, 花, 気候, 香り, 環境, 休養林, 湖, 市内, 世界の自然, 熱帯林, 太陽, 野原, 魚, 密林, ジャングル, 氷河, 雨, 朝の自然, 朝空気, 花園, 裏山, 宇宙 (以上, 38 種類)

#### < 5 位 : 人間関係 >

友達, 女, ヒューマンリレーションズ, 対人関係, 出会い, 付き合い, 人, ガールフレンド, ボーイフレンド, 先輩後輩, 友情, 恋人, 友達と会う, あいさつすること, 携帯電話で文字を送ること, 付き合い, おしゃべり, 隣り, 人々, 親しい人々, 人々との出会い, 親交時間, 一番好きな人, 警備おじさん, 人々との関係, 近所の人たち, 友達との出会い (以上, 27 種類)

#### < 6 位 : 宗教 >

祈祷, 聖書, 信仰, 神様, 教会, お話, 十字架, 信頼, 讃美歌, 祈祷室, 夜明け祈祷, 大学教会, キリスト教, 宣教師, 医療宣教師, 宗教, 祈祷ノート, 黙想の時間, 聖書のお話, 伝道師, 救国祈祷, 教会の人々の一言, 神様との付き合い, ご両親の祈祷, 信仰心 (以上, 25 種類)

#### < 7 位 : 医療 >

薬局, 薬, 病院, 補薬, 内科, 韓醫師, 看護師, 医師, 薬剤師, 保健所, 予防注射, 注射, 医学, 医療体系, 健康制度, 医学技術, 製薬会社, 世界の保健法, WHO, 医療制度, 医療保険制度, 医療奉仕団体, 国境なき医師団, 医療保険 (以上, 24 種類)

#### 2) K-Wify 用紙による問いかけの結果について

通常, 一枚の Wify ワークシートに記入された内容は, 1 つの事例として扱います. しかしこの K-Wify の試行では, 試行を実施した Jo 氏の意向により, 1 つ 1 つの言葉を切り離して集計しました. このようにすると, 事例としてのまとまりは失われます. しかし, 216 名もの学生から“言葉”を集め, それを分類することでできあがった“言葉の目録”は, それなりの説得力を持っています.

特に興味深かったのは, K-Wify は通常の Wify よりも, 最初から“健康”を強く意識して問いかけているのですが, それにもかかわらず, わが国で一般的に健康に強く関連すると理解されている生活習慣的な事項 (食生活, 睡眠・休息, 保健衛生, 運動など) は, 言葉の種類数と延べ出現回数どちらから見ても,それほど比重が高くなかったという点です. 生活習慣よりもはるかに重要な

もの／こととして、言葉の種類順位では、“特別な場所”や“心・精神”や“特別な品物”が上位にきました。これは何を意味するのでしょうか。

ウィキペディアが示す韓国統計庁の発表（2005年）によれば、韓国の宗教人口は総人口の53.1%を占め、仏教22.8%、プロテスタント18.3%、カトリック10.9%、儒教0.2%と続きます。プロテスタントとカトリックを加えたキリスト教徒は人口のほぼ3割になります。特に、今回K-Wifyを問いかけたS大学は、キリスト教徒であることを入学の条件とするクリスチヤンの大学であり、K-Wifyへの答えにキリスト教が現れることは予測できました。しかし、確かに宗教は言葉の種類順位は6位に入っていますが、順位が突出して高いわけではありません。

本連載の前号で述べたように、Wifyの試みは“観（心静かに対象を観察し、真実を悟る）”の言語化・可視化を念頭に置いており、実際にできあがったWifyは、子どもたちの環境観／世界観を言語化・可視化することを目指したものでした。今回、そのWifyの問いかけを“健康”に強く方向づけ、Wifyの変法としてK-Wifyが開発されました。WifyがK-Wifyになっても、“観”の言語化・可視化にチャレンジするWifyの特性は、ある程度保たれていると考えます。ではK-Wifyはどのような“観”を言語化・可視化したのでしょうか。

WHOによる健康の定義<sup>8)</sup>、すなわち「Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity. 1948年」によれば、健康は身体的、精神的、社会的という3状態から構成されています。この3状態を先ほどのK-Wifyと付き合わせてみると、S大生の答えを読み解く鍵は、身体的な状態よりも、精神的および社会的な状態にあると理解されます。しかし精神的および社会的な状態で、S大生のK-Wifyの主要な部分が十分に説明されるかという点、決してそうではありません。「特別な場所」、「特別な品物」、「自然」、「宗教」などの上位のカテゴリーを、“精神”と“社

会”だけで説明するのは困難です。そうすると、S大生のK-Wifyを理解するためには、身体的・精神的・社会的状態に加えて、別な第4の状態を考慮する必要がありますが、その状態とは何でしょうか。手掛かりになるのは、WHOによる健康の定義の改正案「Health is a dynamic state of complete physical, mental, spiritual and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity. 1999年」です<sup>9)</sup>。この改正案では“spiritualな状態”、すなわち“spirituality：精神性（または霊性）”が加わりました。このspiritualityを採用すると、既存の3状態では十分な説明ができなかったS大生のK-Wifyの主要な部分を説明できるようになります。K-Wifyによって言語化されたのは、spiritualityすなわち精神性だったと言えるでしょう。

## 5. 2011年の日本におけるWifyと精神性の現れ方

最後に疑問が残ります。日本人の精神性の現状はどうでしょうか。日本人の精神性は、Wifyによって言語化されるのでしょうか。

1949年以降、文部科学省が毎年行っている宗教統計調査<sup>10)</sup>によれば、わが国の信者数（2008年現在）は、神道系1億842万7,100人、仏教系8,750万6,504人、キリスト教系236万9,484人、諸教系888万135人となっています<sup>11)</sup>。宗教法人を対象とするアンケート調査から得られた数であること、複数の宗教にまたがって冠婚葬祭の儀礼に参加することが日本では一般的であることなどの理由<sup>10)</sup>により、上述の信者数には重複が多いと考えられますが、神道と仏教が大多数であることは否定できません。自然や気象などあらゆる事象に「神」を認める神道の発想からすると、日本人の精神性は「自然」に埋め込まれる形で認められることが多いと推測されます。

実際、これまで国内でいろいろな人々にWifyを問いかけてきた経験から言えば、日本のWifyには「自然・特別な品物・特別な場所・人間関係」に関連する言葉が多く出てくるとするのが筆者の印象です<sup>2)</sup>。

タイや韓国でのWifyでは、Wify1・2・3のい

ずれの問いかけでも、精神性が感じられる言葉が登場しましたが、特に世界を見渡す Wify3 への答えの中に、精神性が強く表れていました。

2011年3月11日以降に、東日本大震災の被災地の大学で数名の学生に実施した Wify の結果を前回<sup>1)</sup>紹介しました。Wify1・2・3から Wify3 だけを取り出し以下に再掲します。

「Wify3：世界まで思い浮かべたとき、無くなったら困る大切なこと／ものは？」

Pさん：トイレなどプライバシーのある場所、飛行機、人とのつながり、自然、海、情報源。

Qさん：家、ライフライン、家族、友達、地球、お金。

Rさん：部屋、実家、駅、村。

Sさん：友達、言語、金、食物、自然。

Tさん：人、店（スーパー、レストラン）、住む所、食べ物、飲み物、電話やメール、インターネットとか通信手段。

Uさん：空気、動物、植物、食料、安全な場所、人間。

Vさん：新幹線、高速バス、飛行機、おじいちゃん、おばあちゃん、しんせきとか、日本全国（または世界の）畑・田んぼ・海など、働く人、日本中の食物の生産者やお医者さん公務員など、ネット、他県・日本内・世界とわたしのつながり。

「ライフライン、トイレ、安全な場所」などの言葉からは、震災の影響が読み取れます。その一方で、何人もの学生が「海、植物、地球」など自然に言及していたことが印象的でした。

Wify の問いかけは、まず“日々の生活”，次に“地域での生活”，さらに“世界での生活”へと視点が広がります。物理的に広がるだけでなく、深さも増すと考えられます。Wify を問い続け、考え続けていると、結果として一歩“精神性”に近づくのもかもしれません。タイのランパーンでのワークショップの経験からすれば、まず Wify を問いかけ、さらに得られた言葉について、その意味を問いかけ、続く言葉と思いを育てる累積的な作業によって、精神性がより明確な形を取る、と期待されます。

人々が Wify や K-Wify から育てる言葉を、率直に受け止められる“健康の概念”として、spirituality を含む WHO 健康定義の改正案<sup>9)</sup>は、わが国では特に2011年の東日本大震災以降に、その存在感が強まっています。

## 文 献

- 1) 守山正樹：環境観・世界観を可視化・言語化する問いかけ Wify の開発。理学療法 28(9)：1149-1162, 2011
- 2) 守山正樹：Wify (ウィッフィ) 生活の中から言葉を育て、生活世界の多様性を学ぶ, 1-40. 福岡大学医学部公衆衛生学教室, 2002 (<http://www.wifywimy.com/a-paper-jp/020902Wify.pdf>)
- 3) Moriyama M et al : Participatory assessment of the environment from children's viewpoints : development of a method and its trial. *Tohoku J Exp Med* 193 : 141-151, 2001 ([http://www.jstage.jst.go.jp/article/tjem/193/2/141/\\_pdf-char/ja/](http://www.jstage.jst.go.jp/article/tjem/193/2/141/_pdf-char/ja/))
- 4) Moriyama M : Health promotion through re-discovery of one's sensibilities of health : the Lifemap and WIFY Methods. *Glob Health Promot* 17 : 44-47, 2010
- 5) 丸地信弘：地域医療に指向した総合問題解決の理論開発とその実践応用：総合ネットワーク (GN) 的接近による医学の教育と研究の一体化を素材にして。信州医学雑誌 37(1)：9-15, 1989 (<http://hdl.handle.net/10091/8886>)
- 6) 守山正樹：Wify ラップ化の試み。福岡大学医学部公衆衛生学教室, 2008 (<http://www.youtube.com/watch?v=5lu29WLWeZ0>)
- 7) Eun Woo Nam, Eun Joo Jo, 守山正樹：K-WIFY モデルを利用した韓国大学生の参加的健康教育効果。日健教誌 15(1)：19-32, 2007 (<http://www.journalarchive.jst.go.jp/jnlpdf.php?cdjournal=kenkokyoiku1993&cdvol=15&noissue=1&startpage=19&lang=ja&from=jnlto>)
- 8) WHO : Constitution of the World Health Organization. WHO, 1946 ([http://www.who.int/governance/eb/who\\_constitution\\_en.pdf](http://www.who.int/governance/eb/who_constitution_en.pdf))
- 9) 白田寛・他：WHO 憲章の健康定義が改正に至らなかった経緯。日本公衛誌 47(12)：1013-1017, 2000 ([http://www.jsph.jp/member/docs/magazine/2000/12/47\\_12\\_1013.pdf](http://www.jsph.jp/member/docs/magazine/2000/12/47_12_1013.pdf))
- 10) 文部科学省：宗教統計調査 (<http://www.mext>)

## 理学療法 (士) からみた spirituality

田村大真\*\*

Daishin TAMURA, RPT

皆さんは、spirituality という“ことば”を聞いた時、どのようなイメージが浮かんでくるでしょうか。そもそも理学療法と spirituality とは相容れないものなのでしょうか。

今回のテーマは、Wify によって具現化される“ことば”への理解をさらに深めるために、spirituality という視点から考えてみようと思います。

### 1. Wify から具現化された“ことば”と spirituality

1999年にWHOによる健康の定義の改正案の中に「dynamic state of complete physical, mental, spiritual and social well-being (抜粋)」という概念が取り上げられて以降、spirituality という“ことば”の意味に多くの関心が集まっています。小薮ら<sup>1)</sup>は、緩和病棟に働く看護師や看護学科の学生を対象とした spirituality という言葉のイメージを調査し、「WHOでは、人間として生きることに関連した経験的一側面であり、身体感覚な現象を超越して得た体験を表す言葉である、と定義している。」としながらも、「スピリチュアリティという言葉は未だ一般的に認められた言葉ではないこと、スピリチュアリティの側面を含めた全人的なケアが提供されるためには、まずは看護師がスピリチュアリティという言葉を知ることが必要であり、その教育が課題である。」と述べてい

ます。まずは、spirituality という“ことば”の語源を探りながら、理解をもう一歩先に進めてみましょう。

英語の spirit の語源になったのは、ラテン語の「呼吸する」という意味の spiritus です。つまり、もともとは「何か」が「息をする」というイメージを持った“ことば”のようです。この「何か」という抽象的な表現が、多様性 diversity<sup>注)</sup> という背景の中でその解釈が異なるようです。田崎<sup>2)</sup>は、WHOで spirituality が議題とされたきっかけには、キリスト教など一神教を信仰する欧米や中東諸国、アフリカ諸国の宗教的要素が大きかったことを指摘しています。例えば、「soul」は人間の不滅の本質であり、「spirit」は心のあり方を意味します。つまり、「soul」・「spirit」・「physical・body」の三要素は人間という生命体を形づくるものとして認識されているようです。

一方、日本語では spirituality は一般的に「靈性」と訳されることが多いようです。「靈性」と言えば、日本ではテレビなどでは霊能者や宗教団体が紹介されたりすることもあり、懐疑的なイメージを持つ人が少なくありませんが、仏教に代表されるインドや中国などの東洋的文化圏では、森

注) 多様性 diversity. これは、人種・民族・国・ジェンダーから文化・伝統・価値観・世界観などを含む包括的な概念である(森田ゆり:ダイバーシティートレーニングブックー多様性研修のてびき. 解放出版社, 2009).

\*\* 麻生リハビリテーション専門学校

性・ジェンダー・思春期の可視化・言語化  
そして意識化

守山正樹\*

Masaki MORIYAMA, MD, PhD

1. “性”は人と社会の生存の根源にある重要事です。しかし恥ずかしさなどの感情を伴う場合が多く、オープンな表現や議論は困難が伴います。どうしたら、人が“性”について持つ認識を可視化できるでしょうか。本稿では、性の知識を言葉と画像でイメージ化し、ラベルに印刷し、イメージの二次元展開を行うことで、学習者（短期大学生）が性に関する自己認識を深め、知識量や学習の大切さを意識化できることを示しました。
2. 社会的・文化的に形成される性差すなわちジェンダーは、生物学的に捉えることはできません。そこで、環境観や世界観を可視化・言語化するWifyを応用し、Wifyの3つの質問を問いかけたあと、4番目に「男/女にとって大切なこと」を問いかけることで、ジェンダー観の言語化を試みました。その結果、学習者（高校生）の間に、男女の存在理由や価値を意識した発言や交流が生まれました。このような対話的な学習の場からジェンダー観が育つと考えられます。
3. 第二反抗期という言葉に出会うことが少ない現代ですが、“思春期らしさ”は今も健在なのでしょうか。ある中学校において、“中学生らしさ”、“思春期らしさ”を意識化・言語化すべく、2年続けてWifyによる問いかけと交流を行ったあと、Wifyの体験の意味を問うフォーカス・グループ・インタビューを試みました。粘り強く問いかけた結果、大人とは異なる中学生らしいものの見方・考え方の一端が言語化され、“思春期らしさ”が認められました。

## 1. はじめに

本連載は手書き顔グラフから出発しました。「紙と鉛筆」的な方法で、人々が頭の中にイメージや概念として持つ対象を可視化（そして言語化、意識化）し、人々の相互理解を促進する試みを続けています。今回は、既に紹介したイメージの二次元展開法<sup>1,2)</sup>およびWify<sup>3,4)</sup>を用いて、“性、ジェンダー”の可視化にチャレンジします。

## 2. 性の可視化

## 【1】可視化の対象の検討

人の健康や生存にとって、最も大切なことは何でしょうか。筆者が専門とする公衆衛生学は、個人よりも集団の視点から、人の健康と生存に関わる学問です。筆者の恩師である鈴木継美先生<sup>5)</sup>（故人）は公衆衛生学の本質を、「次の世代を創る科学」と言っておられました。次の世代が生まれてくるために、とても大切なことが“性、生殖”です。動物は性や生殖の行動を本能的に身につけていますが、人間は学習が必要です。

『日本大百科全書』によれば、性教育という言葉は大正時代から用いられ始めました。『日本国

\*福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室  
(〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈7-45-1)

語大辞典』(小学館刊)には、「性教育」は「青少年に対し、性の理解を通して男性または女性としての人間形成を図ることを目ざした教育：内容としては、性的成熟や生殖現象、同性および異性の特質、両性の人間関係のあり方などが含まれる」と定義され、既に1926年に「今年に成って一番流行った言葉は、性教育でせう」と述べた生方敏郎(明治～昭和時代の随筆家、評論家)の言葉が引用されています。

しかし、健康についての一般的な知識の教育に比較して、性教育を行うことは、そう簡単ではなかったようです。筆者自身は1950～60年代に小学生時代を過ごしましたが、性教育を受けた経験がありません。女子だけ特別に初潮(初経)指導がありました。その後、1972年の日本性教育協会の設立などを契機に、性教育の調査研究が進みました。このような時代、筆者も性教育や性の認識と発達に関心を持ち、論文<sup>6)</sup>を書いています。文部省(現文部科学省)の学習指導要領には、1992年になって、小学校の保健学習に性に関する内容が位置づけられました。

このような中で、筆者の勤務先(当時)の大学でも、1990年代になってジェンダー論が開講されるなど、ジェンダーを含めた性教育に関する動きが活発になりました。またビデオなどの視聴覚教材もさまざまなものが利用できるようになっていました。

しかし、1950～60年代に比較して時代が大きく変わったとは言え、ビデオを見て感想を書いて終わるような授業が一般的であり、性の問題を個人々が考え対話するような授業は、まだ行われていませんでした。そこで考えたのが、イメージの二次元展開法を性教育に応用することです。

## 【2】イメージの二次元展開による性の認識の可視化(1992年)

### 1) なぜ性の問題にイメージの二次元展開法を用いるのか

イメージの二次元展開を開発し、食の可視化とコミュニケーションの活性化を筆者が1980年代に始めたことは、既にお話ししました<sup>2)</sup>。イメージの二次元展開は言葉だけでなく、絵やイラスト

を用いて行うことができます。思考の内容はイメージマップとして表されますが、その内容を言葉だけで表現する必要はありません。恥ずかしいなどの感情に妨げられたり、言葉では話し難かったりする対象についても、言葉と画像を組み合わせたイメージをラベルにしておけば、ラベルを移動させるだけで、感じ考えることを表すことができます<sup>1,7)</sup>。

### 2) 要素と座標軸の選択

1992年のある日、長崎のM大学(教養課程と短期大学部)で性教育を担当しているA氏とB氏からの問い合わせにより、性教育への応用を具体化し始めました。目指したのは、学生(学習者)が性に関して持つ認識の全体像を二次元マップによって描き出し、学生個々の現状把握を助けることでした。

対象者は大学生であり、生殖器や生殖機能など生物学的な基本知識は一応持っています。しかし、周囲の社会との関わり方の中で「自分がどのように行動するか」といった課題を考えられるまでにはなっていないものと判断されました。そこで性について考えるための要素として、「妊娠・出産」、「避妊」、「コンドーム」、「中絶」、「AIDS」、「身体の悩み」、「性って何?」、「パートナーとのつきあい」を取り上げ、各言葉に対応する画像を加え、イメージをラベル化しました(図1)。

要素ラベルを最初に配列する軸として、横軸(X軸)は「知っている程度」とし、左端を「あまり知らない」、右端を「よく知っている」としました。学生は要素ラベルを、知っている程度に従って、まず横軸上に配列することにより、自分自身の知識の状態を確認できます。

次に要素ラベルを展開する軸として、縦軸(Y軸)は「あなたにとってのこれらの学習の大切さ」とし、上端を「とても大切」、下端を「大切にない」としました。「学習の大切さ」を考えることで、今後の自分自身の社会的な行動や役割に目を向けることができます。

### 3) マップから分かったこと

1993年の秋、M短期大学部看護学科の学生50



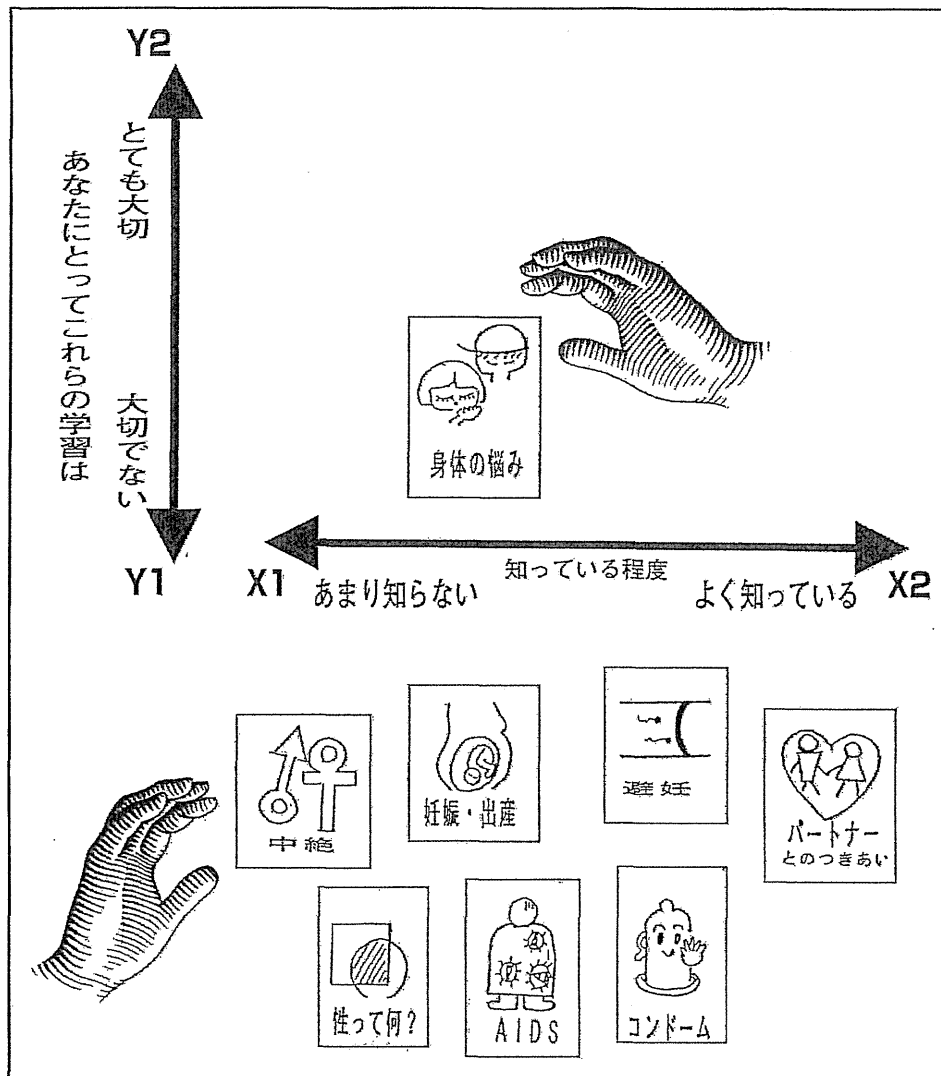


図1 性に関する認識のイメージマップ作成手順

名（全員が女性）を対象に、まずビデオで性についての知識をまとめたあと、授業の後半で、自分自身の性に関する認識を振り返る目的で、イメージの二次元展開を用いました。それまでの通常の授業では、“性”は自分の考えを表すテーマとして考えられませんでした。学生たちは今回の要素ラベルによるイメージの表現を問題なく受け入れ、個性的なイメージマップを作成しました。得られた50枚のイメージマップのうち、先頭の4名（C, D, E, F）のマップを選んで、図2に示します。

マップ作成後に、何を考えながらマップを作成したのかを、段階を追って質問し、思い出した内容を全員に書き出してもらいました。上記の各マ

ップに対応する記述（学生C, D, E, F）を質問毎に以下に示します。

(1) 質問1「横軸方向に要素ラベルを配列したときに気づいたこと、考えたことは？」

Cさん：コンドームや避妊についてのことは知っていても、いざ妊娠したときの処置（産む場合、産まない場合どちらでも）、中絶、妊娠・出産のことが知識不足かなと感じた。それと、心のどこかで「Steady Sexを心がければ大丈夫……」というのがあるみたいで、どこかしらAIDSに対して無関心な気がする。

Dさん：「パートナーとのつきあい」と「コンドーム」は、ビデオを見てですが、離すことのできない結びつきがあることを改めて感じました。

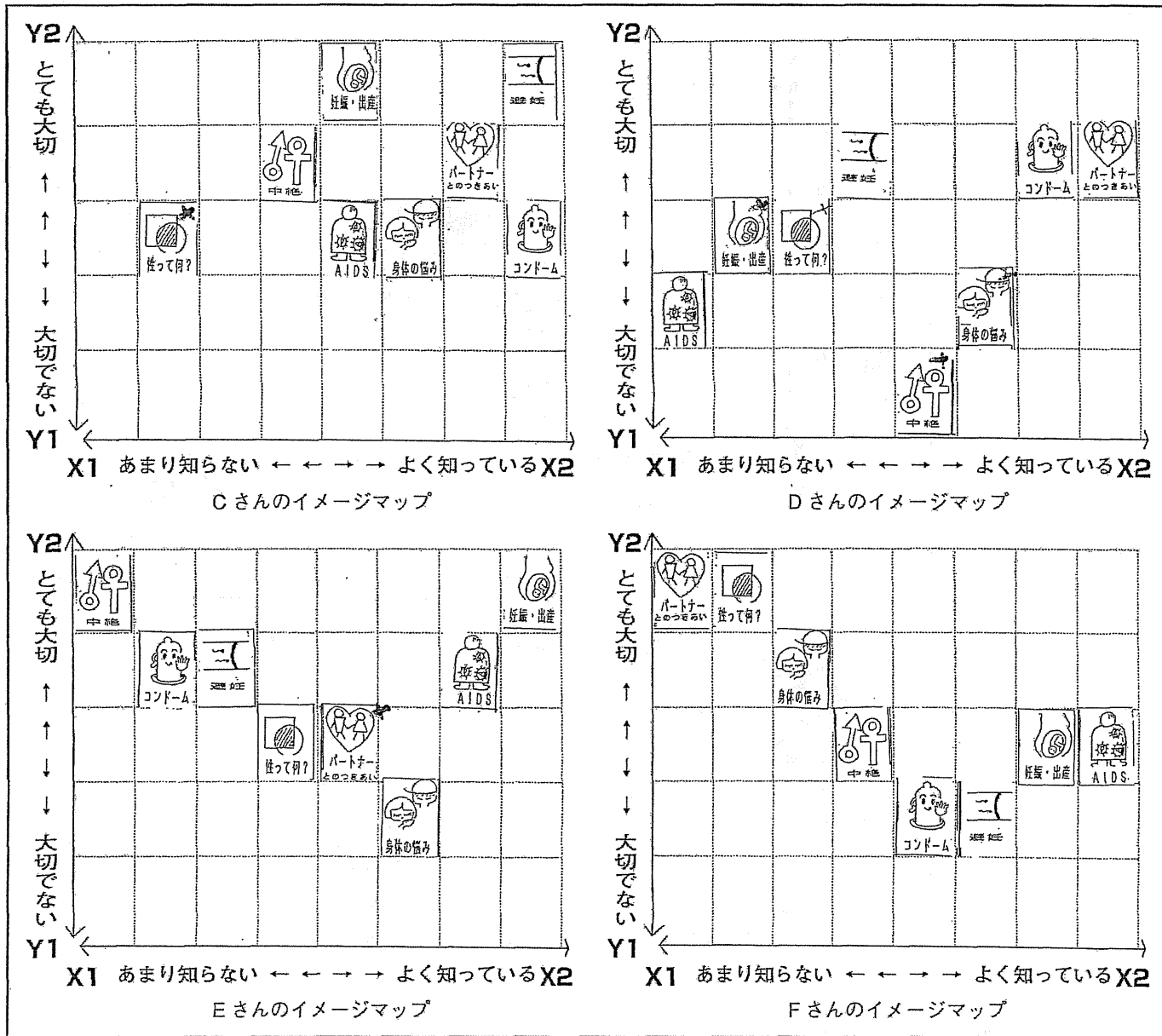


図2 性に関する認識のイメージマップ

並べてみると「よく知っている」と「あまり知らない」が反対かもしれないと思直しました。あくまでも「妊娠・出産」は教科書、講義内のことで、よく知らない部分ばかりだからです。

Eさん：学校の授業で詳しくする項目ほど右側に寄っている。今、もっとも重要なことをよく知っていないと思った。あまり学校では教えてくれないことは、やっぱりよく知らない。こんなふうではいけないと思う。

Fさん：まず、これらのラベルのうち一番耳にするものをX2の方へ並べ、それ以外のものはX1

の方へもっていった。その結果、学校で学習していること（知識）が「よく知っている」方に並び、自分が最初に考えなくてはならないパートナーとの付き合いや性って何?などが、X1の方へ並ぶことになった。

(2) 質問2「縦軸方向に要素ラベルを展開したときに気づいたこと、考えたことは?」

Cさん：中絶は出来る限り避けたいと思っているせいか、あまり重要視しなかったみたい。でも知識は持っているべきだと思うので、この表とは別に学習するべきことだと思直しました。避妊

を学習することは避けられないし、女として、これから大切なのは妊娠・出産だと思った。

Dさん：「身体の悩み」がどのくらい大切かを、その他の7つと比べるとどうかが、難しかった。「コンドーム」や「避妊」の知識を持っていれば、「中絶」ということをそう考えなくてもいいように感じました。

Eさん：自分にとって大切なこと、重要なことが上の方にきている。あまり知らないことが、自分にとっても、とても大切なことであることに気づいた。実際、私たちの年齢で問題になるような、中絶や出産などが大切であると自分では思っているものの、それより下にあるコンドームなどがもっと大切に思えてきた。

Fさん：横軸で知らないことが最も学習が必要であるのでY2の方へ並べた。コンドームや避妊は今日ビデオを見て少し学習したのでこうなった。よく知っていると思った妊娠・出産やAIDSは、学習してもよく分からない部分が多いので、このようになったと思う。

### (3) 質問3「イメージマップの全体から考えたことは？」

Cさん：今まで自分が、妊娠・出産、パートナーとのつきあいなど、上の方の項目について、どのように思っているのか、考えたことはなかったと思う。こんな風にラベルを並べてみて（並べている時）、自分で「ふうん、そうか」と思ったのは、なんだか不思議な気がしました。看護婦になるために母性看護を学習しているわけだけど、まずは自分が一体どういう考えを持っているのか、知ることも大切だなあと思いました。頭では大切だと思っけていても、実際は、そんなに重要視してなかったり、知識を持ってなかったり、我ながら驚いたけど、いい機会だったと思います。

Dさん：「パートナーとのつきあい」-「避妊」-「コンドーム」の関わりが、こんなに大切なものだ、深く考えたことは正直言ってありませんでした。自分の中で恥ずかしいというのがあったからです。これではいけないんだなあ、ぜんぜん恥ずかしいことではないんだなあ、とビデオを見ていて思いました。みんなで考えていけるようなそ

んな人間関係をうまくつくって行きたいです。

Eさん：だんだんと深く考えて行くうちに、並べる順序をまちがえたような感じがする。赤ちゃんができて、最終的な決断をする、それも重要ではあるが、その前に大切なのは、本当に学習が必要なのは、コンドームなどの避妊についての知識だと思った。その知識を持つと、まちがいのない、自分の考える妊娠の判断ができるのだと思う。中絶をしないためにも、もっと基礎をしっかり身につける力が必要だと思う。

Fさん：ほとんど知らないとか学習が必要なものは、他からの情報が明確でないものが多い。例えば、AIDSなどは現在世界的にも問題になっているので、情報が豊富であるが、パートナーとのつきあいは、自分はまだ経験が不十分なのでよく分からないし、性って何？では「性」という言葉は範囲を広く示すので、大ざっぱすぎてはつきりとは分からない部分であるからだと思う。

性についての知識の様子をイメージマップによって自己分析した学生たちは、短期大学部1年生の時にこの作業を行いました。要素ラベルを配列した横軸は「知っている程度」、すなわち作業を行った時点での「知識量」を表します。またラベルを展開した縦軸は、今後求める知識の質に関わる「学習の大切さ」でした。学生たちが、ビデオによる授業で一方向的に与えられた知識や他の既存の知識を自分なりに受け止めた上で、それぞれ独自に、今後の学習の方向を考え始めた様子が示されました。

## 3. ジェンダーの可視化

### 【1】可視化の対象の検討

前項では性の知識を取り上げ、認識の全体像構築を試みました。では、ジェンダーはどうでしょうか。

『日本国語大辞典』によれば、「ジェンダーgender」は「男らしさ、女らしさといった、社会的・文化的につくられた性差：生物学上の雌雄を示すセックスとは区別される」です。

既に述べたように、生物学的な性を中心に組み立てられる性教育は、筆者が学生だった1970年

代にも、盛んに行われていました。しかしジェンダーとなると話は別です。

筆者が1979年の秋から米国テキサス大学オースティン校の人類学科（修士課程）で学び始めた時、ジェンダーのような事柄を、社会的に取り上げ、行動を起こすアメリカ人の柔軟で実践的な発想に、驚かされました。ちょうど9月は新学期でキャンパス内に多くのサークルが机を出して、新入生を勧誘していましたが、その中に、レズビアンやゲイのサークルもあることが印象的でした。また教科書を買いに本屋に行くと、哲学や社会学関連の本が置いてある棚にジェンダーを論じたものが何冊もあることにも、驚かされました。同じ時期の日本では、見かけることのない光景でした。

ジェンダーにはあまり触れずに、生物学的な知識を中心に性教育を行う傾向は、わが国では現在でも認められます。“ジェンダーを論じること”が“難しいこと、哲学的なこと”として受け止められる傾向を否定できません。そこで筆者が試みたのは、Wifyの延長線上で、対象者がジェンダーを遠ざけるのではなく、気軽にジェンダーを考えることでした。

## 【2】ジェンダー観のアクションリサーチ(2004年11月)

前述のイメージマップは、複数の要素から全体像を構成する方法であり、混沌とした考えを整理し、洞察を深めることに向いています。特に考える時の要素が明確である場合は、有効です。しかし、生物学的な性から抜け出し、もっと広い社会的・文化的枠組みの中でジェンダーを考えるためには、イメージマップの枠組みでは限界があります。座標軸にこだわらないで、もっと広く、深く考えていく必要があります。

そこで、Wifyの応用を考えました。Wifyの最初の3質問によって、既に環境観・世界観という広い枠組みへの導入がなされます。4番目の質問を工夫すると、Wifyからジェンダーに迫ることができるはずです。

Wifyからジェンダーに迫るワークシートの例を図3に示します。

このワークシートを用いて、筆者が最初にジェンダー観の言語化と参加的な学習を試みたのは2001年7月であり、福岡のある中学校においてでした。この中学校では体育館に集合した全校生徒に対して問題提起を行いました。場所の制約から、ワークシート記入後の交流を十分に行うことができず、記録も十分に取れませんでした。

その3年後、2004年11月18日に、福岡のO高校の1年生40名を対象に実施し、今度は交流も含めて時間を取ることができました。ワークシートの問いかけに従って、7名の記述を事例として以下に示します。

### 1) 最初のWify

質問「あなたにとって、無くなったら困る大切なこと／ものは何ですか？」(Wify1:日常で、Wify2:地域で、Wify3:世界で)

A君=Wify1:朝ご飯、歯磨きセット、携帯電話、トイレトペーパー、電車/Wify2:駅、駐輪場、武道場、柔道着、コルセット(腰用)/Wify3:国際電話、森、川、飛行機、船。

B君=Wify1:自転車、勉強、食事、柔道、音楽/Wify2:山、川、道路、教室、柔道場/Wify3:福岡ドーム、NGK(なんばグランド花月)、清水寺、バルセロナ、ウルウル(オーストラリア)。

C君=Wify1:EF館、剣道、本、お菓子、携帯/Wify2:友人、家族、剣道、ベスト電器、夜、自転車/Wify3:人と人とのつながり、気候、文化、法律、海。

Dさん=Wify1:食事、友達、家族、学校、部活/Wify2:家、学校、部室とテニスコート、家族、友達/Wify3:福岡県、佐賀県、日本、ニュージーランド。

Eさん=Wify1:学校、薬、ご飯、家族、自転車/Wify2:空、雲、道、風、太陽、雨/Wify3:国連、動物、植物、自然、時間。

Fさん=Wify1:ごはん、お菓子、塾、EF館、家、携帯電話、JC郎(カレシ)/Wify2:交通機関、コンビニ、教室、風、自分の居場所/Wify3:平和、強い経済力、愛。

Gさん=Wify1:食事、服、学校、ケータイ、お金/Wify2:お金、交通面(信号、道、交通機